

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
理学療法演習Ⅱ-2	PSP22-006	必修	1	2	後期	
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
粕山 達也 他	D311	kasuyama		月曜 12:00-13:00		
授業の目的・概要	理本演習では、理学療法演習Ⅱ-1 で学習した一連の検査・測定の流れから疾患を想定した応用的実技を行い、少人数の演習班に分かれて検査・測定技術の習熟、仮説立案能力の向上を図る。また、最先端の医療福祉機器に触れ、医療・福祉の動向を調査するとともに					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> デモ/実演	<input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	
学習上の助言	解剖学、生理学、運動学で学んだ基礎医学分野の知識が必要となるので、復習しておくことが望ましい。					
教科書	理学療法評価学 改訂第6版/著:松澤正、江口勝彦/金原出版、ベッドサイドの神経の診かた 第18版/著:田崎義昭、斉藤佳雄/南山堂、新徒手筋力検査法 第10版/著:Hislop HJ 他/協同医書出版社					
参考書	特になし					
外部教材	特になし					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	患者に対して適切な検査・測定法を選択できる。			RH(3)(4)(5)		
②	検査・測定によって得た結果の解釈を行ない、問題点を抽出することができる。			RH(3)(4)(5)		
③	最新の医療福祉機器に関する情報収集ができる。			RH(3)(4)(5)		
④	グループ活動に積極的に参加し、意見を述べる事が出来る。			RH(3)(4)(5)		
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	検査・測定と統合と解釈について学ぶ。	[担当] 粕山	講義	検査・測定項目について復習を行う。	1	
2	検査・測定から問題点の抽出を学ぶ。	[担当] 粕山	演習	疾患や福祉機器についての予習・復習を行う。	1	
3	症例を交えて福祉機器について学ぶ。	[担当] 粕山	演習	疾患や福祉機器についての予習・復習を行う。	1	
4	国際福祉機器展にて症例のことを考慮した福祉機器について学ぶ。	[担当] 粕山・福田	演習	疾患や福祉機器についての予習・復習を行う。	1	
5	国際福祉機器展にて症例のことを考慮した福祉機器について学ぶ。	[担当] 粕山・福田	演習	疾患や福祉機器についての予習・復習を行う。	1	
6	国際福祉機器展にて症例のことを考慮した福祉機器について学ぶ。	[担当] 粕山・福田	演習	疾患や福祉機器についての予習・復習を行う。	1	
7	国際福祉機器展にて症例のことを考慮した福祉機器について学ぶ。	[担当] 粕山・福田	演習	疾患や福祉機器についての予習・復習を行う。	1	
8	症例を交えた福祉機器についての発表会を行う。	[担当] グループ毎	演習	疾患や福祉機器についての予習・復習を行う。	1	
9	整形疾患の検査・測定について学ぶ。	[担当] グループ毎	演習	疾患や福祉機器についての予習・復習を行う。	1	
10	中枢神経疾患の検査・測定について学ぶ。	[担当] グループ毎	演習	脳血管疾患の検査・測定項目について復習を行う。	1	
11	整形疾患の検査・測定と問題点の抽出を学ぶ。	[担当] 粕山	演習	脳血管疾患の検査・測定項目について復習を行う。	1	
12	整形外科疾患における関連図と ICF を発表する。	[担当] グループ毎	演習	脳血管疾患の検査・測定項目について復習を行う。	1	
13	中枢神経疾患の検査・測定と問題点の抽出を学ぶ。	[担当] 粕山	演習	脳血管疾患の検査・測定項目について復習を行う。	1	
14	中枢神経疾患における関連図と ICF を発表する。	[担当] グループ毎	演習	脳血管疾患の検査・測定項目について復習を行う。	1	
15	症例に適した検査・測定と問題点抽出に関するまとめ。	[担当] 粕山	講義	検査・測定項目について復習を行う。	1	
試	定期試験					

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		50	0	50	0	0	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	20	0	0	0	0	20	
	思考・推論・創造する力	20	0	10	0	0	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10	
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10	
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	0	5	
	問題を発見・解決する力	10	0	10	0	0	20	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	整形疾患および中枢神経疾患に関する筆記試験を行う。				試験結果に関する解説を行う。	
	②	✓						
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	国際医療福祉機器展に関するレポート (20 点) 整形疾患に関する発表 (15 点) 中枢神経疾患に関する発表 (15 点)				発表後にフィードバックを行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	三科 貴博、関口 賢人、関根 聡美、源 裕介、坂本 祐太、石井 智也、福田 京佑							
教員の実務経験	理学療法士（臨床経験 19 年） 整形外科クリニック 6 年 訪問リハビリテーション 12 年 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（臨床経験 19 年、資格取得後 8 年）							
実践的授業の内容	10 月 8-10 日に開催される国際医療福祉機器展に参加予定（授業 4 コマ分使用）							
そ の 他	*全て対面授業で実施する予定である。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は面接受業の参加は認めない。今後の感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性がある。							